



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

東

上場会社名 株式会社NITTAN

上場取引所

コード番号 6493

URL <https://www.niv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 太煥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部部长 (氏名) 北村 隆

TEL 0463-82-1311

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	37,529	0.1	2,640	217.3	2,936	147.1	1,932	538.7
2025年3月期第3四半期	37,506	△1.1	832	△55.6	1,188	△47.5	302	△63.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,159百万円(389.7%) 2025年3月期第3四半期 441百万円(△89.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	67.11	62.11
2025年3月期第3四半期	10.52	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	66,484	39,204	45.6
2025年3月期	66,613	38,045	43.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 30,295百万円 2025年3月期 29,028百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2026年3月期	—	7.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	13.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	51,400	△0.1	3,300	118.9	3,600	89.8	2,200	249.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	28,978,860株	2025年3月期	28,978,860株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	173,398株	2025年3月期	203,752株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	28,792,004株	2025年3月期3Q	28,759,299株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(四半期連結損益計算書関係) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
3. 参考情報 .....	12
(1) 所在地別セグメント情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策の影響から自動車産業を中心に一部で足踏みが見られるものの、全体としては緩やかな回復が続きました。米国では関税強化により景気拡大が鈍化し、欧州・アジアでも生産回復に遅れが生じるなど、不確実性が残る状況です。

日本経済は雇用や個人消費、設備投資の持ち直しにより緩やかな回復基調にありますが、輸出・生産は横ばいで、企業収益の改善は足踏みしています。物価上昇や金融市場の変動によるリスクにも注意が必要です。

当社グループが属する自動車業界では、日本市場は微増ながら消費者心理の慎重化から販売の勢いが鈍っています。グローバル市場では部品供給が正常化し生産は安定する一方、米国の関税強化や中国・欧州の競争激化により通商環境の不確実性が高まっています。

このような状況下、当社グループは、「基盤強化」「永続的發展」「企業風土改革」を柱とするグローバル経営方針のもと、事業の持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでおります。また、パーパスである「多様な技術を駆使し、脱炭素化社会の実現に貢献する」ことを目指し、社会・市場環境の変化に対応した事業運営を進めてまいりました。

中長期経営VISIONである「NITTAN Challenge 10」においては、VISION I（ICE領域の高度化）およびVISION II（xEV・異業種領域の事業化）を中心に、事業ポートフォリオ全体の最適化、海外拠点の競争力強化、新規事業の獲得などにに向けた取り組みを推進しております。グローバル市場の構造変化や通商環境の不確実性が高まるなか、これらの取り組みを確実に実行するためには、収益性の改善、生産性向上、海外事業の再構築、並びに成長領域に向けた機動的な投資が一段と重要なものとなっております。

こうした背景のもと、当社は2025年11月28日開催の取締役会において、横浜キャピタル株式会社との事業提携契約を決議し、同社より資金提供を受けるとともに、経営基盤強化に向けた実効性の高い支援を受ける体制を構築いたしました。本提携では、事業ポートフォリオ経営体制の構築と実行、成長領域へのM&A推進、生産性向上やコスト構造改革、海外事業の立て直しなど、事業拡大および収益性改善に関する施策について、同社の専門的知見を活かした伴走支援を受けることとしております。

当社グループは、本事業提携を活用しながら、「NITTAN Challenge 10」の実現に向けた取り組みをさらに加速させ、持続的な成長に向けた経営体制の強化を進めてまいります。

このような経営環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上面では小型エンジンバルブ事業における中国市場での半導体供給影響や北米市場の通商政策の影響、二輪車向け南米・欧州市場での販売不振などの減収要因がありました。一方で、四輪車用軸中空エンジンバルブの販売増加や二輪車向け新機種の新機種開始、さらに汎用エンジンバルブにおける新機種の納入開始や生産調整の終了に伴う販売回復などの増収要因に加え、為替影響等も寄与したことから、売上高は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。この結果、売上高375億29百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

損益面につきましては、国内外の各拠点における収益性改善の取り組みや生産性向上、舶用部品事業の黒字化、販売価格適正化の効果などにより、前年同期比で大幅に増益となりました。その結果、営業利益26億40百万円（前年同期比217.3%増）、経常利益29億36百万円（前年同期比147.1%増）となりました。最終損益につきましては、保有株式および土地建物の売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億32百万円（前年同期比538.7%増）となりました。

なお、株式会社N I T T A N恵那金属および恵那金属昆山有限公司は、前連結会計年度において貸借対照表のみ連結しておりましたが、第1四半期連結会計期間より損益計算書においても連結しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### <小型エンジンバルブ>

当セグメントの売上高につきましては、四輪車向けでは中国市場における半導体供給影響や北米市場における通商政策の影響、二輪車向けでは南米・欧州向けの販売不振などの減収要因がありました。一方で、四輪車用軸中空エンジンバルブの販売増加や二輪車向け新機種の量産開始などの増収要因もありましたが、これらが減収影響を補うまでには至らず、前年同期比で減収となりました。海外事業においては、北米拠点における転注や中国の一部拠点における受注減少および為替換算の影響等により、前年同期比で減収となりました。

汎用エンジンバルブは、海外向け製品の生産調整終了および販売回復や新機種の量産開始等により、前年同期比で増収となりました。

損益面につきましては、半導体供給影響等による減益要因はあったものの、国内外拠点における収益性改善や生産性向上等が進んだことにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、売上高301億30百万円（前年同期比7.0%減）、セグメント利益（営業利益）26億63百万円（前年同期比75.0%増）となりました。

#### <舶用部品>

当セグメントの売上高につきましては、前年同期では当社堀山下工場（舶用部品工場）での火災の影響を受けましたが、火災影響からの回復および受注残の解消に加え、販売価格の適正化などにより前年同期比で増収となりました。

損益面につきましては、生産体制の正常化および販売価格適正化の効果などから収益性が改善し、前年同期比で増益となり、損失から黒字へ転じました。

この結果、売上高38億23百万円（前年同期比38.8%増）、セグメント利益（営業利益）2億8百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）4億19百万円）となりました。

なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高61百万円を含んでおります。

#### <歯車>

当セグメントの売上高につきましては、欧州およびアジア向け自動車用製品の販売不振に加え、建設機械向け製品の販売不振などの減収要因がありました。一方で、農機向け製品は堅調に推移し増収要因となりましたが、減収要因を補うまでには至らず、前年同期比で減収となりました。

損益面につきましては、減収影響等により前年同期比で損失幅が拡大しました。

この結果、売上高12億43百万円（前年同期比30.0%減）、セグメント損失（営業損失）2億27百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億23百万円）となりました。

#### <その他>

当セグメントの売上高につきましては、バルブリフターは海外向け製品の販売回復および価格適正化により増収となりました。可変動弁は補用品の販売減少により減収となりました。工作機械はグループ内部での取引減少により減収となりました。ロイヤルティーはグループ内部での取引減少により減収となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より当セグメントに株式会社N I T T A N 恵那金属および恵那金属昆山有限公司の損益計算書を含めております。当該連結化の効果もあり、当セグメント全体では前年同期比で増収となりました。

損益面につきましては、新規製品の立ち上げコスト発生や中国市場の冷え込みに伴う恵那金属昆山有限公司の損失影響等により引き続き損失計上となっていますが、株式会社N I T T A N 恵那金属の連結化の効果等により、前年同期比で損失幅は縮小しています。

この結果、売上高34億24百万円（前年同期比58.3%増）、セグメント損失（営業損失）1億32百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）2億5百万円）となりました。

なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高10億30百万円を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、664億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億29百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、322億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億70百万円の増加となりました。この主な要因は、その他に含まれるもののうち未収入金が7億41百万円、受取手形及び売掛金が4億77百万円、原材料及び貯蔵品が4億33百万円減少した一方で、現金及び預金が24億83百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、342億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億99百万円の減少となりました。この主な要因は、建設仮勘定が8億91百万円増加した一方で、機械装置及び運搬具（純額）が10億96百万円、建物及び構築物（純額）が3億95百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、143億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億7百万円の減少となりました。この主な要因は、その他に含まれるもののうち未払金及び設備未払金が14億53百万円、支払手形及び買掛金が5億45百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、129億57百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億20百万円の増加となりました。この主な要因は、長期借入金が7億19百万円減少した一方で、転換社債型新株予約権付社債が14億94百万円増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、392億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億58百万円の増加となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が5億58百万円減少した一方で、利益剰余金が15億57百万円、その他有価証券評価差額金が2億10百万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想は、直近の業績動向などを踏まえ、修正致しました。

詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,272,996	11,756,540
受取手形及び売掛金	9,195,033	8,717,846
商品及び製品	3,475,143	3,438,845
仕掛品	2,322,515	2,230,703
原材料及び貯蔵品	5,294,252	4,860,633
その他	1,972,673	1,198,429
流動資産合計	31,532,615	32,203,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,406,455	8,010,982
機械装置及び運搬具（純額）	12,813,307	11,716,673
土地	1,545,393	1,460,876
建設仮勘定	1,221,000	2,112,351
その他（純額）	727,651	660,636
有形固定資産合計	24,713,809	23,961,521
無形固定資産	1,267,711	1,571,555
投資その他の資産		
投資有価証券	7,664,081	7,582,181
出資金	209,545	198,320
長期貸付金	31,005	34,931
繰延税金資産	690,383	587,887
その他	531,567	372,407
貸倒引当金	△27,268	△27,411
投資その他の資産合計	9,099,315	8,748,318
固定資産合計	35,080,835	34,281,394
資産合計	66,613,450	66,484,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,583,087	4,037,374
短期借入金	5,632,032	5,258,483
1年内償還予定の社債	54,000	—
未払法人税等	357,910	418,721
賞与引当金	352,939	116,419
役員賞与引当金	19,472	—
その他	5,231,492	4,492,137
流動負債合計	16,230,934	14,323,135
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	1,494,500
長期借入金	6,324,727	5,605,533
繰延税金負債	2,180,955	2,198,165
退職給付に係る負債	3,221,910	3,108,149
その他	608,999	550,676
固定負債合計	12,336,593	12,957,025
負債合計	28,567,528	27,280,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,496,832	4,499,653
利益剰余金	14,272,256	15,830,122
自己株式	△56,661	△48,297
株主資本合計	23,242,970	24,812,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,251,257	3,461,912
為替換算調整勘定	2,032,784	1,474,704
退職給付に係る調整累計額	501,902	547,040
その他の包括利益累計額合計	5,785,945	5,483,656
新株予約権	—	2,177
非支配株主持分	9,017,007	8,906,379
純資産合計	38,045,922	39,204,235
負債純資産合計	66,613,450	66,484,396



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	37,506,746	37,529,896
売上原価	32,931,047	31,057,330
売上総利益	4,575,699	6,472,565
販売費及び一般管理費	3,743,479	3,832,342
営業利益	832,220	2,640,223
営業外収益		
受取利息	104,438	95,629
受取配当金	276,763	254,707
持分法による投資利益	182,482	171,075
雑収入	79,677	109,273
営業外収益合計	643,361	630,686
営業外費用		
支払利息	160,011	208,840
為替差損	80,725	34,020
雑損失	46,328	91,410
営業外費用合計	287,064	334,271
経常利益	1,188,516	2,936,638
特別利益		
固定資産売却益	28,814	84,963
投資有価証券売却益	—	592,872
受取保険金	※1 257,795	—
特別利益合計	286,609	677,836
特別損失		
固定資産売却損	13	—
固定資産除却損	16,239	7,055
特別損失合計	16,253	7,055
税金等調整前四半期純利益	1,458,873	3,607,419
法人税等	784,510	844,270
四半期純利益	674,362	2,763,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	371,867	830,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	302,495	1,932,156

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	674,362	2,763,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△888,200	210,426
為替換算調整勘定	612,674	△850,506
退職給付に係る調整額	24,335	83,570
持分法適用会社に対する持分相当額	17,853	△46,853
その他の包括利益合計	△233,337	△603,363
四半期包括利益	441,025	2,159,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△181,421	1,629,867
非支配株主に係る四半期包括利益	622,446	529,918

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(法人税等の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

2023年12月31日に発生いたしました当社堀山下工場(船用部品工場)における火災に関しましては、取引先への納期遅延に伴う補償等は現時点で合理的に見積ることが困難であることから、取引先との協議等の結果によっては、当社に追加の損害が発生する可能性があります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

2023年12月31日に当社堀山下工場(船用部品工場)において発生した火災に関わる損害保険金の一部が確定したものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小型エンジン バルブ	船用部品	歯車	計		
売上高						
日本	8,423,034	2,729,890	1,777,091	12,930,016	616,718	13,546,734
アジア	12,006,046	—	—	12,006,046	—	12,006,046
北米	9,675,266	—	—	9,675,266	—	9,675,266
欧州	2,278,698	—	—	2,278,698	—	2,278,698
顧客との契約から生じる収益	32,383,046	2,729,890	1,777,091	36,890,027	616,718	37,506,746
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	32,383,046	2,729,890	1,777,091	36,890,027	616,718	37,506,746
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	24,941	—	24,941	1,546,752	1,571,693
計	32,383,046	2,754,831	1,777,091	36,914,969	2,163,470	39,078,439
セグメント利益又は損失(△)	1,522,012	△419,580	△123,483	978,948	△205,132	773,815

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、P B W、可変動弁、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	978,948
「その他」の区分の利益	△205,132
セグメント間取引消去	263,342
全社費用(注)	△113,901
子会社株式の取得関連費用	△91,036
四半期連結損益計算書の営業利益	832,220

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小型エンジン バルブ	船用部品	歯車	計		
売上高						
日本	8,507,200	3,762,183	1,243,273	13,512,657	1,844,268	15,356,925
アジア	11,789,718	—	—	11,789,718	528,454	12,318,172
北米	7,221,167	—	—	7,221,167	—	7,221,167
欧州	2,611,991	—	—	2,611,991	—	2,611,991
顧客との契約から生じる収益	30,130,077	3,762,183	1,243,273	35,135,534	2,372,722	37,508,256
その他の収益	—	—	—	—	21,639	21,639
外部顧客への売上高	30,130,077	3,762,183	1,243,273	35,135,534	2,394,362	37,529,896
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	61,137	—	61,137	1,030,558	1,091,696
計	30,130,077	3,823,321	1,243,273	35,196,672	3,424,920	38,621,592
セグメント利益又は損失(△)	2,663,686	208,778	△227,859	2,644,606	△132,804	2,511,801

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、可変動弁、バルブリフター、工作機械製造販売、機械加工、表面処理、不動産賃貸、ロイヤルティー等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,644,606
「その他」の区分の利益	△132,804
セグメント間取引消去	258,630
全社費用(注)	△130,208
四半期連結損益計算書の営業利益	2,640,223

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,144,659千円	2,845,093千円
のれんの償却額	一千円	13,546千円

## 3. 参考情報

## (1) 所在地別セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,546,734	12,006,046	9,675,266	2,278,698	37,506,746	—	37,506,746
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,762,549	2,955,501	800	98,615	4,817,465	△4,817,465	—
計	15,309,284	14,961,547	9,676,066	2,377,313	42,324,212	△4,817,465	37,506,746
営業利益又は 営業損失(△)	△845,972	2,116,555	△479,277	81,696	873,002	△40,782	832,220

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・台湾、中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド

北米・・・アメリカ

欧州・・・ポーランド

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,378,565	12,318,172	7,221,167	2,611,991	37,529,896	—	37,529,896
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,093,611	2,091,969	—	143	3,185,723	△3,185,723	—
計	16,472,176	14,410,142	7,221,167	2,612,134	40,715,620	△3,185,723	37,529,896
営業利益	10,227	1,644,808	601,632	70,699	2,327,368	312,854	2,640,223

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・台湾、中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド

北米・・・アメリカ

欧州・・・ポーランド